

1 部局を越えて！ 県庁内の統計実務者「意見交換会」

なんで今？ 「統計の利活用を考える」「統計情報を共有する」「統計に関する相互支援」、幹事役となった経済統計室（静岡県職員統計勉強会）の言葉を借りると、9月7日（木）県庁内で開かれた意見交換会の目的はこうなるようです。当日は各部局の関係者29名が約2時間にわたり部局の垣根を越え活発な意見交換を行いました。例えば「それぞれが持っている統計情報をデータベース化できないか」とか、「県HP上の統計サイトを利用しやすくしよう」とか、「これを機会に統計を勉強したい」とかとにかく建設的な意見が相次ぎました。それにしても「なんで今？」なのか。それは「統計利用が部局内だけで済む時代ではなくなっている」という時代認識に尽きます。



今後、どうなる？ 幹事役の発言です。「交換会では一緒に考えて欲しい」「みんなでより良い業務環境を創っていくために」「参加希望や参加してもらいたい室があったら入ってもらえば良いのではないか」。とにかく形にこだわらず、担当者レベルの実質的な情報交換会（部局を越えた）を柔軟かつ機動的に開催していこうということです。参加者全員は「意見交換の場の継続」を確認して散会しました。次回は9月末～10月初旬、全国第3位の出荷額を誇る「工業統計速報（最新）H17.12.31」等を作成担当者の説明付きで報告を受けることになっています。（幹事「参加者の方でも情報があればお知らせください」）

2 夏の思い出？ 県庁初「夏休み県庁統計相談」の実績は・・・

大勢来てくれました 統計3室がチャレンジした子供たちの宿題対策？でなく統計の普及を目指した統計相談。8月21日（月）～31日（木）土日を除く9日間で「111名の来訪者（1日当たり約13名）」がありました。遠くは裾野市や浜松市から来訪してくれた親子もありました。パンフレット4600枚の配布（中部県民生活センター、こどもの国、静岡科学館など）、県庁親子職場体験参加者への案内、静岡市内の小中学校・公民館・市立図書館への実訪PR、テレビ・新聞報道、県HPへの案内掲載など、あらゆる広報媒体・手段で繰り返し情報発信を行った結果です（この場を借り広報にご協力頂きました皆様に御礼申し上げます）。

来夏に向けて ところで、100名を超える来訪者は何を見て（聞いて）来訪したと思いますか？興味ある結果が出ています。集計結果は、県庁親子職場体験参加者19名（17%）、パンフレット19名（17%）、県庁来庁時に知った17名（14%）、新聞14名（13%）、口コミ16名（14%）、TV11名（10%）等です。新聞・テレビの力、口コミの凄さが分かります。統計3室の若手職員は来夏も更にグレードアップした取組みに挑戦しようとしています。社会の情報基盤である「統計」の普及のために引き続きご協力をお願いします。

